

令和5年度第2回浦安市子ども・子育て会議議事録

1. 開催日時 令和5年10月3日(火) 18時00分～19時30分

2. 開催場所 浦安市文化会館大会議室

3. 出席者

1) 委員

櫻井委員(会長)、砂上委員(副会長)、佐藤委員、梅本委員、小笠原委員、鈴木委員、吉澤委員、白井委員、大島委員、大塚委員、大森委員、竹内委員、藤田委員、堀金委員

2) 事務局

【健康こども部】 内田部長、吉泉次長

【健康こども部こども課】 鈴木課長、柿島課長補佐、熊川係長、水島、木戸口、藤平

【健康こども部東野(高洲)児童センター】 齊藤所長

【健康こども部保育幼稚園課】 永田課長、興梠課長補佐、小川係長、山島係長

【健康こども部青少年課】 飯塚課長、藤原課長補佐、鈴木係長

【健康こども部母子保健課】 宇田川課長、手島課長補佐、阿部係長、岡本係長

【健康こども部こども家庭支援センター】 伊藤所長、河口副主幹、菅谷副主幹

4. 議事

1) 令和4年度事業実績報告について

幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策について 資料1

地域子ども・子育て支援事業(13事業)について 資料2

次世代育成支援対策関連事業個別評価について 資料3

2) 基礎調査概要について 資料4

3) その他

5. 会議経過

1) 令和4年度事業実績報告について、資料1「幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策」に関して担当課からの説明後、各委員からの意見・質問は次のとおり

会 長：ただいま担当課から説明がありましたが、ご質問はありますか。十分な量が確保できており、困っていないという理解で良いですね。お母様たちは安心して預けられると解釈ができるということでしょう。続いて、資料2の説明をお願い致します。13事業それぞれの担当課からご説明をいただきたいと思います。

(資料2「地域子ども子育て支援事業(13事業)」について各担当課からの説明後、各委員からの意見・質問は次のとおり)

会 長：資料2について説明が終わりましたが、ご意見、ご質問はございますか。

委 員：評価区分は自己評価ということでよろしいでしょうか。

事 務 局：各課より説明させていただきました評価につきましては、全て自己評価となっています。

委 員：2ページの②地域子育て支援拠点事業、③一時預かり事業とは、令和4年度の計画の量の見込みと令和5年・6年度で大きな差がありますが、原因としては何がありますか。

事 務 局：令和4年度までと令和5年度以降の数値に変更が出ているものですが、これは令和4年度に第2期計画の中間見直しを行った際に、現状に合わせた計画の修正をしたためです。中間見直しを踏まえ、令和5・6年度において数値が大きく異なる事業がございます。

委 員：4ページの子育て短期支援事業の数値について、令和5年度は計画量が2,513、9ページのこどもショートステイの令和5年度の計画量が1,077。これは定員×開所日数ということでよろしいですか。

事 務 局：委員のご指摘の通り、定員×開所日数でございます。

委 員：令和5年度はうるう年なので少し多いのではないかと思うのですが。

事 務 局：計画量は開所日数359日を基本とし、算出していますが、ご指摘をふまえて再度確認いたします。

委 員：13事業のご説明をいただきまして、量については十分に満足という理解をさせていただきましたが、質の方については利用者アンケート等は行っているのでしょうか。

事 務 局：各事業の質につきましては、事業を実施するうえで各課判断しアンケート等を用いて状況の把握をしております。資料2「地域子ども・子育て支援事業（13事業）について」は、確保方策と量の見込みに重点をおいた資料となっております。

会 長：量的には満足していることは十分理解していますが、質も定義が難しいと思いますので、計画に関して管理上数字で見ているという理解だと思います。そのうえで委員がおっしゃりたいのは、利用者の思いは個々の事業で把握しているのか知りたいということだと思います。参考までに一つ聞いてみたいのですが、母子保健課はいかがでしょうか。

母子保健課：母子保健課では、例えば1ページの①利用者支援事業において妊娠8ヶ月頃の時期にアンケートを実施しその結果を事業の実施に活かしております。

こども課：各事業ごとに日々、利用者の意見を聞いて即時に反映するよう努めています。
子育て支援センターでも利用者のアンケート等を一定期間行い、都度意見聴取しています。
量、質と線引きは難しく今回の評価も量が中心ですが、質に繋がる部分も随時取り組みつつ把握していかないと考えています。

委員：15ページの⑫実費徴収に係る給付を行う事業について、評価がAとあるので一定数利用されるご家庭はあるのかないのか。多いのか少ないのかお聞きしたいです。

保育幼稚園課：実績といたしましては、令和4年度で1世帯、令和3年度で2世帯、令和2年度で4世帯となっています。

委員：保護者としては数が十分に確保されているだけでなく質が気になります。
⑩放課後児童健全育成事業で夏休みに娘がアルバイトをしていたのですが、そこではスタッフが足りない状況が見受けられるという話を聞きました。毎年人数が増えている中で対策はあると思いますが、質という面で我々に開示いただける部分があれば見えるようになれば良いと思います。今後の会議でのご報告予定はあるのでしょうか。

青少年課：放課後児童健全育成事業の質についてですが、毎年1年に1度、保護者と運営事業者で評価事業を実施しその中で保護者にアンケートを取り把握しています。運営事業者がどのような運営に携わってきたかという自己評価事業を行い、その内容は公開しながら実施しています。実際の評価としては、保護者の皆様から満足いただいております。

会長：質という意味で開示できるものがあれば、個別に実施している内容を見せてはどうかということだと思います。この辺りは公開に当たって支障はあるのでしょうか。報告書などでもいいと思いますが。

事務局：今回の会議では計画の実績値の確認とし、確保方策と量の見込みの視点を基に数値の報告をさせていただいたものです。質の部分の取り扱いについては、次回以降の報告の際の検討いたします。

会長：事務局側でも考えていただけるということによろしいと思います。
⑧延長保育事業については保育・幼稚園課で延長保育を実施しているとありますが、実際にどのくらいまで時間を延長しているのですか。

保育幼稚園課：市立と私立、また園により異なりますが、市立については大半が朝7時から夕方6時30分まで、私立は朝は7時からが大半であり、夜は遅いところで8時まででございます。

会 長：早くから預かるということですね。ありがとうございました。

委 員：会議に参加して皆様のお声や担当されている方のお顔を拝見することで、市民として身近に接する機会が他にあると嬉しいと感じました。フラットに意見を伝えられるような場が今後設けられたら良いと感じます。

質問ですが、①利用者支援事業について、子育てケアプラン作成件数が、令和2年度と令和3年度が乖離していますが、コロナの影響やギフトがなくなったからなのか、あるいは他に足が遠のいた理由があれば知りたいです。前回の会議でもこのような様々な事業を市民に届けることが課題とされていましたが、どの程度市民に周知されているのか、また、市民が認識しているのかをどのように把握されているのかが気になりました。その中の一つが子育てケアプランを作ることによって情報共有につながると思いましたが、それ以外でも必要な人に必要な情報をどのように届けていくのかを知りたいです。

母子保健課：母子保健課で行っている利用者支援事業では子育てケアプランを作成しているのですが、妊娠期と出産前後、子どもの1歳の誕生日の前後に3回作成しています。1回目の妊娠期は、必ず母子健康手帳を交付するため、ほぼ100%関わりを持つことができますが、2～3回目に関わりが薄くなるのが課題としてあります。令和2年度まではアニバーサリーギフトを交付していたこともありますが、コロナの影響もありましたので、減少したのには複数要因があり、回数を重ねるごとに段々と少なくなってしまうのが現状ですので、どのように関わりを持つかが今後の課題です。令和5年3月から国の出産応援子育て交付金という制度で、浦安市では妊娠期・子どもを生んだときに応援ギフトとして現金給付をしています。これを利用して繋がりを多少増やせると思いますが、どうしても3回目の関わりが薄くなるのは課題として残ります。

会 長：その他よろしいでしょうか。続いて資料3についてご説明をお願い致します。

(資料3「次世代育成支援対策関連事業個別評価」について各担当課からの説明後、各委員からの意見・質問は次のとおり)

会 長：ご意見やご質問があればお願いします。学童や思春期に係る事業も含めて沢山の事業を展開していることが良くわかります。気が付いた点ございますか。

副 会 長：令和4年度状況を踏まえて、令和5年度取組を具体的にそれぞれ記載いただいておりますが、1ページの9・10番、幼稚園子育てすこやか広場事業や保育園園庭開放など令和5年度取組として、今後も継続して実施を予定していくとありますが、どこを重要視して継

続していくのかなどを書き足してもらえると、事業の意義が再度確認できると思います。単に継続ではなく、今後書き足していただくと良いと思います。

会長：評価が連続Aならともかく、連続Bだと更にとということだと思います。方向性や大事な部分を再度確認する意味でも書いていただく方が具体的なイメージがしやすいと思います。続いて、議題の2「資料4」の説明をお願いします。

2) 資料4「基礎調査概要」に関して担当課からの説明後、各委員からの意見・質問は次のとおり

会長：調査概要が資料4に示されていますが、ご意見・ご質問ございますか。

委員：未就学児の保護者にとってはアンケートの設問の分量が多いと思います。前回調査で回収率ほどの程度だったのでしょうか。

事務局：前回アンケート回収率は約6割です。

委員：残りの4割の人の中には設問数が多く途中で疲れて回答できなかった人もいないかと思います。その点、実際は分からないのでしょうか。

事務局：回答者の負担にならないよう配慮した設問形式にしようと考えてはいますが、調査票は必要な設問を盛り込んで次回会議でご提示いたします。

委員：この調査の集計方法は単純集計なのかクロス集計なのか教えてください。

事務局：単純集計とクロス集計どちらも行います。

委員：もし、単純集計であれば全員に対して全質問をする必要はなく、対象者ごとに設問内容を分ければよいと考えたのですが、クロス集計をするのであれば必要になりますね。

会長：その他にご質問ございますか。

委員：調査は全て紙で実施するのでしょうか。最近ではQRコードを調査票に載せてスマートフォンで回答するという方法もあり、それを用いることで回答率も上がると思います。紙で事足りるのであればよいと思いますが、一方でQRコードは設定が大変またはコストがかかるといった面もあるかと思うので、どうぞ検討されているのか教えていただけますか。

事務局：現状では紙の調査票を予定しております。

会 長：情報の保護もあるのでどう設計するか、厳密に実施するならばパスワードを渡すことになるだろうと思います。また、本来は他人が当人のパソコンに入ってもログをたどって結果が見えないようにしなければいけません。前回調査では立ち入ったことも聞いたにも関わらず、半数以上も返ってきたのだと感じました。類似調査は大抵 3 割くらいだと思いますが、真面目に答えてくれた方々が多い印象を持ちます。これは分からなかったところなのですが、調査件数の根拠は何に基づいてあげているのか教えてください。

事 務 局：未就学児の保護者及び小学 1～6 年生の保護者の合計 2,000 件と表記していますが、調査母体の人口に対して、統計調査のサンプルサイズの計算に基づき算出しています。母子健康手帳交付者（初妊婦）の方 200 件というのは最大で 200 件の配布という表記です。

会 長：過去調査の数字をみて母子健康手帳を交付する人の数（妊娠届を出す方）が 200 件程度となると見込んでいるということですか。妊婦全員にとるわけではないのですか。

事 務 局：調査機関窓口の配布や初妊婦の方を対象とした事業等で配布します。その場で配布するものであるため全員にとるわけではなく、期間内で対応できる人に配布をすると捉えていただければと思います。

会 長：無作為とありますが、どんな方法で対象者を抽出するのかを知りたいです。例えば小学 1～6 年生の保護者の場合に小学生は低学年～高学年で均等に割るのか、層化無作為なのかなど。あまりにも適当な無作為抽出では、この調査の目的である「ニーズを知る」ということができるのかが疑問です。本当に調査するときにはどうするのでしょうか。前は、小学生は 800 人だったのでどうなんだろうと思いました。

事 務 局：居住地区・年齢などを踏まえて抽出条件を設定し、偏りが無いように実施いたします。

会 長：偏りがあるとニーズを全て把握するのに相応しくないとします。他の委員の方がおっしゃるように自分でも全て回答できるか不安があります。ましてや未就学児や赤ちゃんがいるお母さんは更に大変だと思います。どこまで何を知りたいのかを厳選した方が良いと思います。他に質問ございますか。

委 員：自分が回答する立場と仮定したら、何のために作っているのか、浦安市が子ども子育ての環境をどう改善したくてアンケートを取りたいのかという「理念」に触れられると回答しにくくなると思いますし、そうすることでアンケートの回収率も上がるのではないかと思います。

会 長：「法律・条例のため」や「子育て支援の充実に活かされます」という文章よりも浦安市が目指す子育てや思いがあって知りたいというお願い文があると良いと思います。共感できるようなみんなで作り上げるという気運の高まる調査が良いと思います。
議事が終わりましたので、最後に「その他」を事務局からお願いいたします。

事 務 局：皆様からの意見を踏まえ、より良いものにしていこうと思います。本日の会議録についてですが、事務局で作成した案を後日、委員の皆様へ郵送でお送りし内容のご確認をお願いいたします。委員の皆様へ確認をいただいた後、発言者のお名前を匿名化し公表いたしますのでご了承をお願いします。次回は来月 11 月に開会予定です。詳細確定しましたらご連絡をいたしますので、よろしくお願いいたします。

会 長：次回もすぐですので、皆様ご調整いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。最後に学識の委員から何かございますか。

委 員：中間見直しを受けて、2 期から 3 期に向けた議論が行われるとのことでしたが、実績値を見ながら質の話が出ていましたので、1 期目で全体像を把握した中で明らかになった課題が、2 期目でどう変わったのかなどが分かると議論も深まるのではと思います。次回は調査票の検討もあるので、そのようなことをお示しただけると委員の皆様からの調査票の内容について具体的な意見がもらえるのではないかと思います。

副 会 長：本日の会議で皆様と 2 期計画の状況を共有できたと思います。今後、調査を実施していくにあたって浦安市の方向性や思いが見えてくるのではないかという意見が出ましたので、浦安市として大切にしているもの目指すものを調査の段階である程度示せばよいのではないかと感じました。

会 長：ありがとうございます。次回の基礎調査のご提案で一般市民の方に直接届くメッセージとしていくのかということもあります。メッセージが全員に届く訳ではないと思いますが、保護者同士の世間話などで広がることもあるかもしれません。最近のパパママ教室は、多くの方がパートナーと一緒に参加し時代が変わりつつあると感じます。そういう意味でも新しい子育ての計画ができていくことにぜひ期待したいと思います。これからも委員の皆様のお力添えをいただきたく思います。また委員の方々が自分のコミュニティに戻ったときに本日の会議のことを少し意識しながら感じてもらい、それを次回の会議以降に還元すると委員の役割を大いに発揮できるのではないかと思います。また 11 月によろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。